



# 六中だより

～自主・勤勉・共生～

2月号 No. 6

令和4年2月17日発行

港区立六本木中学校

校長 石原 嘉人

## 主体的に行動しよう

校長 石原 嘉人



北京冬季オリンピックが開催され、日々熱戦が繰り広げられています。準備に準備を重ねてきたアスリートたちの大一番の勝負から多くの感動をいただいています。

スノーボード女子ビッグエアに出場した岩渕麗楽選手は、2回目を終えて4位につけ、最後の3回目の演技で縦3回転の大技（トリプルコーク）に挑戦しましたが、惜しくも着地でバランスを崩してしまいます。

成功とはなりませんでしたが、滑り終えた岩渕選手の元へ多くの選手が駆け寄り、肩を抱いて健闘をたたえています。

東京オリンピックのスケートボードでも同じようなシーンがあり、お互いに健闘をたたえ合うという文化は素晴らしいと感じます。

岩渕選手も、演技後の会見で

「また4位になってしまって、やっぱ悔しい気持ちの方が多いんですけど、最後、チャレンジできて良かった。他の選手たちに自分と一緒に喜んでもらえてすごい良かったです。本当にここで、たくさんの人々に応援してもらえてうれしかったです。」

と話しています。

多くの選手が岩渕選手のもとに駆け寄るシーンはとても感動的でした。

岩渕選手のことを調べていると次のような記事を見つけました。

「スイスでの動画撮影がメインのイベントがあり、自分の滑りについて考えるきっかけになった。それまでは、大会で勝つための技を練習しなければ、という義務感が少なからずあり、スノーボードの幅は狭まり、自分の中で面白さがなくなっていました。しかし、このイベントで映像や写真映えするような技を練習したり、細部にまで自分らしさを入れた動きにこだわったりすることで、スノーボードが本来もつ、自由な発想の楽しさを再認識した。」

義務感から解放され、競技本来のもつ楽しさを追求するという原点に返り、主体的に取り組むことが大技へのチャレンジに繋がり、多くの人に感動を与えたのでしょうか。

何事も、義務的にやっているうちは大成しないものです。主体的に行動することで本物に近づいていくのだと思います。そして、「楽しんで」できるようになれば本物なのでしょうね。

勉強も同じです。学問というのは本来そういうものだと思います。

生徒の皆さん、学年末テストを楽しんでください！！

### Twitter始めました

令和4年1月11日、始業式の日から六本木中学校公式ツイッターを開設し、学校の様子を配信しています。

140文字に収めることができても難しく苦労していますが、覗いてみてください。



# 令和3年度 学校教育活動点検アンケート 集計結果

港区立六本木中学校

このアンケートは令和3年12月23日から令和4年1月11日にかけて「がくぶり」又は「文書」で行われたアンケートです。230名中83名の方から回答をいただきました。(回収率36%:昨年比+5%)

アンケートへのご協力ありがとうございました。

回答は、A~Eの5段階でしたが、集計は、肯定的評価(A+B)、否定的評価(C+D)、わからない(E)で集計させていただきました。

昨年比	↗↗ : 10%以上上昇	↗ : 5%~10%上昇	↘↘ : 10%以上下降	↘ : 5%~10%下降
	→ : -5%~+5%ほぼ変わらず			

1 学校経営計画、学年経営方針がわかりやすい。

肯定的評価 = 88% (↗↗) 否定的評価 = 5% わからない = 7% (→)

2 学校だより、学年だより、ホームページなどの情報で学校の様子がよくわかる。

肯定的評価 = 88% (→) 否定的評価 = 11% わからない = 1% (→)

3 電話を掛けた時や学校へ訪問した際の教職員の対応が丁寧である。

肯定的評価 = 93% (→) 否定的評価 = 4% わからない = 4% (→)

4 教職員はPTAや地域の活動に協力的である。

肯定的評価 = 68% (↘↘) 否定的評価 = 4% わからない = 28% (↗↗)

5 学習の狙いや内容が明確な授業が行われている。

肯定的評価 = 74% (→) 否定的評価 = 7% わからない = 18% (↗)

6 少人数授業において、生徒が進んで学習する姿が見られる。

肯定的評価 = 68% (→) 否定的評価 = 12% わからない = 20% (↗)

7 ゲストティーチャーを招いた授業や学習が計画的に行われている。

肯定的評価 = 88% (↗↗) 否定的評価 = 4% わからない = 9% (↘↘)

8 授業では、話の聞き方や正しい姿勢での態度がきちんと指導されている。

肯定的評価 = 65% (→) 否定的評価 = 15% わからない = 21% (→)

9 表情が明るく生き生きと生活している生徒が多い。

肯定的評価 = 88% (→) 否定的評価 = 4% わからない = 9% (→)

10 生徒はあいさつができ、服装など身だしなみも整っている。

肯定的評価 = 89% (↗) 否定的評価 = 6% わからない = 5% (→)

11 登下校時には、マナーや学校の決まりを守り通学している。

肯定的評価 = 76% (→) 否定的評価 = 13% わからない = 11% (→)

12 いじめの早期発見・早期解決のために生活アンケートが定期的に行われている。

肯定的評価 = 70% (→) 否定的評価 = 4% わからない = 27% (→)

13 不登校の予防や学校生活への適応のために「なんでも相談」等の相談活動が効果的に行われている。

肯定的評価 = 61% (→) 否定的評価 = 6% わからない = 33% (↗)

14 進路説明会の行われる時期や内容が適切である。

肯定的評価 = 83% (→) 否定的評価 = 4% わからない = 13% (→)

15 職業調べ学習等の進路選択に向けた学習や取組みが行われている。

肯定的評価 = 73% (→) 否定的評価 = 11% わからない = 16% (→)

16 道徳授業地区公開講座が周知され、内容が充実している。

肯定的評価 = 89% (↗) 否定的評価 = 1% わからない = 10% (→)

17 入学式や卒業式などに生徒が規律正しい態度で臨んでいる。

肯定的評価 = 87% (→) 否定的評価 = 1% わからない = 12% (→)

18 部活動では、各自が目標をもって意欲的に取り組んでいる。

肯定的評価 = 80% (↗) 否定的評価 = 9% わからない = 11% (↘)

19 不審者対応、ハイテク犯罪防止等にかかわる取組みが行われている。

肯定的評価 = 77% (→) 否定的評価 = 1% わからない = 22% (↗)

20 玄関や廊下、教室等の清掃がよくなされていて気持ちがよい。

肯定的評価 = 94% (→) 否定的評価 = 1% わからない = 5% (→)

21 給食は、安心・衛生、栄養、おいしさに配慮し、食育に係る話題の提供がある。

肯定的評価 = 79% (↘) 否定的評価 = 10% わからない = 11% (→)

22 施設、設備の不備は放置されずにすぐ改善されている。

肯定的評価 = 66% (↖↖) 否定的評価 = 1% わからない = 33% (↗↗)

23 「六中タイム」やテスト前の課題を通して、学習の振り返りや家庭学習の習慣化が図られている。

肯定的評価 = 74% (→) 否定的評価 = 17% わからない = 9% (→)

24 道徳の評価は適切に行われている。

肯定的評価 = 60% (↖↖) 否定的評価 = 2% わからない = 38% (↗↗)

25 タブレットは効果的に利用されている。

肯定的評価 = 84% (新設) 否定的評価 = 10% わからない = 6% (新設)

26 新型コロナウイルス感染症に対する対策が十分行われている。

肯定的評価 = 89% (↗↗) 否定的評価 = 4% わからない = 7% (→)

27 各教科の学習評価は適切に行われている。

肯定的評価 = 78% (新設) 否定的評価 = 7% わからない = 15% (新設)

今年度の昨年に引き続きコロナ禍での学校生活となりました。

一人1台のタブレット端末の導入や通信環境の改善により、オンライン授業や対面とオンラインを組み合わせるハイブリッド型の授業を行うことができるようになったことは昨年度と大きな違いです。

しかし、地域行事や学校行事は思うように行うことができず、生徒や学校の活動の様子をお見せする機会が激減しています。肯定的評価が大きく下がった項目(4, 22, 24)はいずれも「わからない」という回答が大きく増えていることから、公開機会の減少が原因である可能性があります。

今年度は、学校行事への保護者の方の参観を制限した代わりに、ビデオを撮ってオンデマンドで公開するという方法を取りました。(運動会・合唱発表会)また、保護者会においても集まることができない状況である場合は、オンデマンドで配信するという方法を取りました。これらは、少しでも保護者の方々に生徒たちの活動の様子や学校の考えをお伝えするために行ったものです。

また、道徳教育は学校の教育活動全体を通して行われるものですが、通知表でお知らせする道徳の評価は道徳の時間に学習したことをもとに生徒の心の変容をとらえ、文章で表記して通知しています。

回答数が少ないとこと、E:わからないという回答が多いことから、まだまだ学校からの情報発信に課題がありと感じております。保護者の皆様から頂いたご意見を真摯に受け止め、改善を図ってまいります。

港区立六本木中学校 校長 石原 嘉人

## 自由意見（集計結果）

多くのご意見をいただきました。一つ一つのご意見を重く受け止め、真摯に対応してまいります。  
いただいた全てのご意見を掲載し、学校としての回答をお知らせします。

- 1 各科目の先生も話したいですが、担任の先生だけではなく。
- 2 小学校で英語が必修なのに、アルファベットやローマ字の練習を中学校の英語の宿題として出すのは、いかがなものかと思います。子供のレベルに合わせた教育をしてほしいです。子供がやる気をなくしてしまいます。
- 3 いつも大変お世話になっております。息子は小学校時代に比べて、学校での様子を話してくれるが増えました。

今日、とある先生から「君たちの小学校からは私立中学に半分くらいの子たちが進学している。考えてない子たちがここに残ってる」という趣旨のことを、叱られている最中に言われたと聞きました。

前後のこともあるとは思いますので子供の言うことを100%信じるわけではないですが、うちは子供の適性を考えて区立を選びました。もしこのようなことを言う先生がいらっしゃるのなら、だからみんな必死になって私立に行かせようとするのだと自覚してほしいと思います。

良い先生方が大半だと思い、日頃の先生方のご対応にはとても感謝しています。

先生との楽しいやりとりなども話してくれますので、このようなことをお伝えすることで、息子に何か影響することだけが心配です。
- 4 子ども達の意欲が低下しているなあと見受けられます。いつまで黙食や友達と騒がないなど立前上の対策を続けますか？学校は学ぶだけではなく、友達と楽しく交流する場でもあります。教職員がしっかりと免疫のことや、ウイルスのことを学び、マスコミやテレビではなく、公的機関の発表するデータをみて、コロナが特に子ども達にとって恐ろしいウイルスではない！と言うことを知り、学校を楽しい場に変えていって欲しいと思います。
- 5 自分達の立場を守り、子ども達の健康と未来をなくすことがないようにどうかどうか、よろしくお願ひ致します。
- 6 給食が、もっと美味しくなると嬉しいです。たくさん食べて身体を大きく丈夫にしたいです。
- 7 土曜授業を無くし、平日増やして欲しい。
- 8 学校へ行くと、すれ違った生徒が気持ちよく挨拶してくれて、とてもよい学校だと好感が持てます。生徒にとっても挨拶はとてもよいことなので、続けてほしいと思います。
- 9 社会の授業の改善を希望します。

教科書の代わりに配られるプリントの内容が、中学のレベルを超えていました。

早急に調査、対応してください。
- 10 今年も大変お世話になりました。ありがとうございました。

コロナ禍での授業は大変だったと思いますが先生方のお力でオンラインでも授業が出来て親子共々感謝しております。ありがとうございました。

- 11 普段の授業や各先生方の日頃のお仕事には敬意を表します。  
しかし、六中らしさを何で表すのか？について、基本的な人間としての意識をもっと際立たせて欲しいものです。  
タブレットは、配布を目的にするのではなく、「活用と成果」にもっと強くインボルブして欲しいのです。まだ先生たちの中で「中学生にどの様に均質に活用させるか？」「親にどう参画させるか？」など、もっとトライさせることを望みます。  
集中モードやスクリーンタイムを活用して「ネットやYoutubeを無駄に見せず、プログラムやクリエイティブに対して取り組める様、課題やコミュニケーションに日々使える「道具」に昇華させてください。先生全体のスキルアップなど、先生達のITリテラシーを上げて行く努力を惜しまないでください。  
よろしくお願ひします。
- 12 学校公開に行くと（先生によって違うようですが）授業中に立ち歩いたり、大声で話している生徒が目立ち、気になりました。
- 13 個人的な意見ではありますが、子供が学級委員など責任がある立場での他の生徒とのトラブルがないか心配になります。あまりに酷い学校生活態度等（お菓子を食べている、携帯電話を観ている…etc）で注意などしなければいけないが、生徒同士だと、今の世の中物騒なので事件沙汰にならないか不安もある様です。  
先生に告げる事は簡単ですが、その後、その事で何か言われたりするのを嫌がり伝えられない時もあるそうです。
- 14 月間予定表や給食献立表なども生徒への配布と同時に、がくぶりにアップしてもらいたいです。  
出先で子供の帰宅時間や夕食被りなどが確認できるので便利だと思います。
- 15 家ではほぼSNSで遊んでいるので、学習の楽しさが伝わるような学校であって欲しい。
- 16 同じ区立中学のなかで学力の差がありすぎる状況はいかがなものかと思います。  
もう少し差を縮めるような対策があっても良かったのではないかと思います。  
生徒が自発的にいろいろな事を考え、学校運営に関わっていくような取り組みがなさすぎるのは意欲低下のひとつに思えます。
- 17 下校途中にジャージ姿のまま食べ歩きしながら帰っている女子生徒の集団をみかける。
- 18 テスト範囲表が分かりづらく、授業内のみで公開する教科もあり家庭学習の支援が非常にし辛い。後で見てもキチンと分かるような内容の書類にして欲しい。試験の評定の前に範囲までチャレンジさせるのはやめて欲しい。また英語のクラスごとでレベルも違うのは分かるが、試験作成教員のクラスの方が内容を知っている様な事にならない様にして欲しい。
- 19 放課後スタディーは実質なくなっている？か不定期のようなので、放課後の学習の場を充実させて推奨して頂きたいです。廊下は寒さ暑さがあるので、空き教室も開放して欲しい。
- 20 高校の進路について改善が必要。
- 21 いつも本当にありがとうございます。
- 22 学校HPの年間行事予定表をタイムリーに更新してほしかったです。運動会が延期になったら決定した時点で更新して掲載し、常時最新情報が見れるようにしていただけたら便利でした。

## 回答

貴重なご意見、ありがとうございました。

一つ一つのご意見にお答えする形ではなく、内容をまとめた形で回答させていただきます。

### 学校運営について

今年度から、生徒と共に学校運営を考える「六中を考える会」を開催しています。参加者は、生徒会役員と校長、教務主任、生活指導主任です。この取組を受けて、生徒会では意見箱を充実させて全生徒から意見を吸い上げています。この会は学期に1回開催されており、iPadの使用制限時間の延長については、この回から出た生徒の意見を全校生徒に確認し、区へ要望して実際に変更されています。これからも、校則に関すること、学習に関することに生徒を参画させ、自分のこととして考える生徒を育てていきたいと考えています。

また、新型コロナウイルス感染症にかかる学校運営については、様々な考えがあることは承知しています。学校としては区のガイドラインにしたがって運営を進めております。ご理解願います。

なお、土曜授業日に関しては、区で回数が決められており、本校の土曜授業日は、区で定めている下限で行っております。

### 情報発信について

生徒からの要望、保護者の方からのご意見をもとに1月11日から六本木中学校公式Twitterを始めました。様々な考えがある中で一方通行ではありますが、学校の状況を発信してまいります。

また、月行事予定表や給食の献立表についても「がくぶり」への掲載を始めました。ペーパーレスで配信できるので、今後もこのような形で進めてまいります。

また、学校HPについては、タイムリーに情報を掲載することができなかった部分もありました。申し訳ありませんでした。改善してまいります。

### 学習指導について

授業内容等については、ご意見の内容を確認し改善に努めています。直接教科担当に説明させることもできます。必要であれば、連絡してください。

授業態度については、生徒同士で注意することは適切な方法ではなく、授業担当者が責任をもち掌握すべきことです。必要に応じて複数の教員が入って授業を進めるという方法も取っています。

また、放課後STUDYについては、参加者が少ない日もあり、低迷しているように感じられるかもしれません。本校では、自学自習で進める放課後STUDYを、家庭学習の充実や学力向上へつながる大切な取組として位置付けており、タブレットの効果的な活用も含め、来年度の指導の重点として取り組んでまいります。

### 生徒指導について

あやまちは、厳格に指導し、成長を促してまいります。その上で、正しいことが支持される学校でありたいと考えています。生徒も、正しいことをした生徒が不利益を被ることのないよう最大限に注意を払って指導しております。様々な葛藤の中で生徒は成長していきます。これからも、生徒の安心・安全をしっかりと担保したうえで健やかな成長を支援してまいります。

### その他

教員の不適切な発言については、確認し、是正してまいります。

生徒たちは、生徒同士の仲が良く、教員に対しても気軽に相談できる点を本校の良いところであると考えています。今後も、この校風を失うことのないように努めます。

進路指導については、生徒・保護者の考えを尊重し、丁寧に相談を重ねて進めます。コロナ禍において入学試験の手続き等についても大きな変更が施されていますので、保護者、学校間の情報共有が大切となっております。

タブレット端末については、効果的に活用できるよう検討を重ね、使用しています。今後も、機能拡充を図り、必要不可欠なコミュニケーションツールとしての活用を図っていきたいと考えています。そして、最終的には、数ある文房具の一つとして適切に使えるようにしていきたいと考えております。